



Chitose Rotary Club

川端会長方針
“いい仕事をしよう”

会長 川端 清 副会長 齊藤 博徳 幹事 大澤 雅松
会長エレクト 藤本 敏廣 会計 五十嵐 桂一
第2510地区ガバナー 安孫子 建雄 第7グループ・ガバナー補佐 大川 健一

ロータリー創立日 1905年2月23日
千歳RC創立日 1967年4月26日

～1月はロータリー理解推進月間～

本日の例会(1月30日 第31回) 通常例会

担当:ロータリー情報・定款細則委員会

第30回(通算2306回) 例会報告

日時:2014年1月23日(木) 12:30~13:30

場所:駒そば亭

プログラム:昼移動例会

担当:健康委員会

司会:SAA・プログラム委員会 浅利 美恵子 副委員長

四つのテスト:移動例会の為、割愛

(金)19時40分着のANA4815便で新千歳空港に到着します。千歳セントラルRCからお出迎えの要請がありましたので、この時刻に新千歳空港に行ける方はお願いします。

④次回通常例会(1月30日、ANAクラウンプラザホテル千歳)の前に第16回理事会を開きます。理事の方は午前11時までに例会場にお集まり下さい。

健康委員会より(健康委員会 中村 堅次 委員長、長澤 邦雄 委員)

会長挨拶(川端 清 会長)



本日は駒そば亭で、移動例会が盛大に行われますが、回を重ねて今年で7回目となります。武石・長澤両パスト会長が深く蕎麦との関わり合いを持っておられるお蔭で、私もその恩恵を受け、美味しい蕎麦を頂く事が出来ます。また、駒そば亭の関係者の方々のお気遣い感謝申し上げます。誠に有り難うございます。

1月16日に一般社団法人千歳青年会議所の新年交礼会に出席して参りました。会員数は19名で会員のなり手が少ないとの話でした。内容は若さが漲り、とってもフレッシュな感じで実行力また行動力に満ちているように感じました。

1月17日は千歳商工会議所の新年交礼会でした。これはとても素晴らしい大人の世界でした。抽選会では私も見事、「北の華の食事券」が当たりました。

1月21日には千歳日台親善協会が昨年12月6日に結成された事を受けての祝賀会が行われました。益々北海道と台湾の観光往来を盛んにして欲しいとの事でした。台湾は皆さんを歓迎しますので、お待ちしておりますとの事でした。

1月22日千歳市社会福祉協議会へ私と大澤幹事で訪問し、1月9日に行われました千歳RC新年交礼会で皆さんからおみくじ代として預かりました59,000円を寄贈して参りました。

それでは、駒そば亭での例会で会員の皆さんが楽しく思い出になる一時を作って明日の活力として下さい。

幹事報告(大澤 雅松 幹事)



本日は移動例会です。千歳市社会福祉協議会への寄付と行事参加状況は会長挨拶で詳細に報告があったので、緊急のもの4点だけに絞って報告します。

①本日の例会に、田中敬二会員の後任者であります、須川 美和さんにご出席頂いています。

②本日18時30分からANAクラウンプラザホテル千歳1階和室で田中 敬二 会員の送別会を開きます。ご出席のご連絡を頂いていた方はお忘れなく出席願います。

③R1第2510地区が行っている、被災地支援活動「福島キッズキャンプ」で雪まつり見学に来道する福島の子供達が1月31日



こんにちは。一言ご挨拶申し上げます。蕎麦は健康に良いのは皆さんご存知の通りですが、何が良いのかと申しますと、食物繊維を多く含んでいるという事です。戦前戦後は沢山取っていた訳ですが、最近では不足しているようです。蕎麦には食物繊維が白米の2.5倍含まれていて、コレステロールの増加を抑制し、脳梗塞や心筋梗塞を防止するようです。大変健康に良い食べ物ですので皆さん大いに食べて長生きして頂きたいと思えます。詳しい事は長澤先生にお任せ致します。



こんにちは。先程会長から過分なる紹介を頂きました。実はこの駒そば亭を建設したのは中山パスト会長がおられる中山建設(株)でして、駒そば亭が出来た時にサポーターの会を作ろうという話になり、蕎麦会を作り、私が会長になりました。8年間会合を開き、1回につき2日間に渡って行ってまして、既に24回が終りましたから、かれこれ50~60回は行っていると思います。RCのメンバーの中にも会員になっている方がいらっしゃいます。会費は無料ですので、是非蕎麦を好きな方、会話の好きな方は私に言って下さい。いつでも入会OKですのでよろしくお願い致します。

本日、駒里農業協同組合の武石会長がタイのチェンマイの方に視察に行かれ、欠席です。これまでの本例会では、第一回目に「北海道のそば百店」という本を書いた先生にお話しをして頂き、第二回に蕎麦について講釈をしましたので、今日はどうしようかと思いましたが、純粋にお蕎麦を食べて健康になって貰いましょう、という会にしました。

先程、蕎麦についての栄養のお話がありましたが、蕎麦にはルチンが入っていて動脈硬化を予防する効果があります。皆さんが今日食べたお蕎麦は、「きたわせ」という蕎麦

出席率

今回:55.5% (1月23日=30/54、実数)

確定:87.0% (1月9日=47/54、うちMu0名)

麦で、北海道の気候、風土に合わせて作ったお蕎麦です。元々蕎麦は、紋別の「ぼたん蕎麦」が元で、その蕎麦を品種改良して「きたわせ」を作りました。蕎麦は、種を撒いて75日後に刈るのですが、昨年は幌加内の蕎麦も開花の時期に雨にやられて不作に終わりました。蕎麦の花は下から上に順に咲いていきます。上の花が実になる時に刈っていくと下の実が落ちてしまって遅くなるので、78%位実が出来上がった頃に刈って行く為、青とか黒い実が混ざってしまうみたいです。ルチンが一番多く摂れるのは蕎麦だと思われるのですが、実は蕎麦を茹でた湯、すなわち蕎麦湯に多く含まれています。是非蕎麦湯を沢山飲んで下さい。それでは、駒そば亭副店長の沼山さんからお話をして頂きます。沼山さんは沼山パスト会長の息子さんです。

駒そば亭 副店長より（副店長：沼山 誠二 様）



皆さまこんにちは。今日は駒そば亭をご利用頂き有り難うございます。今日は、店長と組合長が不在の為、代わりにご挨拶させていただきます。蕎麦についてですが、世界的にはロシアと中国の収穫量が一番多いです。日本は外国から80%位輸入に頼っています。日本では北海道が生産量が一番です。中でも幌加内が日本一の収穫量を誇っています。幌加内では年間2,200トン位の生産があり、作付面積も日本一となっています。駒里でも蕎麦を栽培していますが、昨年は、28ヘクタールに対して2,600俵から2,650俵位の生産がありました。昨年は収穫の時期に長雨が続き、全体の収穫量が減ってました。

蕎麦の品種は、「きたわせ」を使わせて頂いています。駒そばの取り組みとして、農水省の方から「食と地域の交流事業」を頂き、年間200万円位の補助を頂きました。蕎麦の種撒き、蕎麦の花見会、蕎麦の収穫、蕎麦打ちを年間4・5回等趣味との交流を深めながらやっています。その他に冬祭りも行っていて、わんこ蕎麦とか外でゲーム等を行い、交流を深めながら駒そば亭に人が来て貰えるように進めています。また、駒場の里という直売所があり、大収穫祭等も行い集客アップを目指しています。昨年は1,500人位の集客がありました。今後ともどんどん駒そば亭に来て頂けるように活動していきます。また、蕎麦の加工品等にも力を入れて活動しています。皆様のご意見、ご指導を頂きながら、駒そば亭に沼山の方々に来て貰える様に努力していきますので、今後ともよろしくお願い致します。

チャリティーおみくじ売上金を千歳市社会福祉協議会に寄付

千歳RCの川端 清会長と大澤 雅松幹事は1月22日、千歳市社会福祉協議会を訪れ、力示 武文 会長に現金59,000円を寄付しました。

千歳RCが1月9日に開いた新年交礼会で、社会奉仕委員会（大西 信也 委員長）が企画した「チャリティーおみくじ」の売上金です。千歳神社からおみくじを頂き（購入し）新年交礼会に参加した会員や山口 幸太郎 千歳市長、滝澤 順久 千歳商工会議所会頭をはじめ千歳セントラルRCや恵庭RC、千歳LC（ライオンズクラブ）、千歳中央LCなどのご来賓の方々へも呼び掛けました。当日、58,000円の売り上げとなった他、後日の通常例会で丹治 秀一 会長もご購入され、計59,000円になりました。

千歳RCは36年前の1978年から2003年までほぼ毎年、クリスマス会や新年会などでチャリティー募金をして同社会福祉協議会に寄付していましたが、それ以降は寄贈先を市内の福祉団体、奨学基金、震災被災地、保健関係などに変わってきました。今回は同社会福祉協議会が60周年を迎える事もあり、11年振りの寄付となりました。千歳RCから同社会福祉協議会への寄付累計は、今回を含めて2,129,000円になりました。（金額・寄付年次は千歳市社会福祉協議会のデータによる。）



※力示会長に寄付金を渡す川端会長です。

田中 敬二 会員 送別会開催報告

1月23日（木）、ANAクラウンプラザ千歳において、札幌信用金庫千歳支店長でありました、田中 敬二 会員が本年1月1日付けで本部 業務開発部 副部長に就任され、ご栄転する事に伴い、後任の千歳支店長に近々千歳RCに入会予定でもあります、須川 美和 氏が就任されます。本日はそのお二人を迎え、総勢26名が出席しての送別会が盛大に行われました。

大澤 雅松 幹事の進行の下、川端 清 会長のご挨拶から始まり、田中会員の入会当時の会長であります、佐々木 金治郎 パスト会長から入会当時のお話や激励のご挨拶が述べられました。引き続き、会員からの感謝の気持ちとして、浅利 美恵子 職業奉仕委員長より田中会員への記念品が贈られた後、田中 敬二 会員からご挨拶を頂きました。



3年間お世話になりました。千歳の重鎮である皆さまと知り合えた事は私の貴重な財産となりました。縁あってこの3年間は会報委員会の活動をさせて頂きましたが、1年目で尾崎さんの下で活動させて頂いた後、尾崎さんがご栄転なされる事になり、会報委員会の委員長となった2年目はとにかく大変でとても長く感じました。今年は菟川委員長の下で会報

委員会の副委員長として活動して参りましたが、スムーズに役割を移譲する事が出来たので大変楽な立場になりました。（笑）この度本部に行く事になり、ロータリー活動、特に会報編集活動から離れた現在もホームページは見えています。千歳RCを退会させて頂く事になりますが、ホームページはこれからも引き続き見て参りたいと思いますので、どうか私の事も頭の片隅にでも置いて下さい。

これから本部で業務開発部の事務企画開発担当の副部長という役職を頂きましたが、行う内容としては若手支店長の教育です。ただいま素案作りに四苦八苦していますが、新人支店長が3人居ますので、手探りながら頑張っております。ちなみに、後任の須川支店長は、この千歳支店で3店目の支店長ですので、そういった教育はもう必要ありません。皆様のご厚誼をお願い致します。

この千歳RCは私にとってとても良い組織でした。これからも陰ながら応援していきたいと思っています。どうか札幌信用金庫を今後ともよろしくお願いいたします。その事を引き続きお願いしてご挨拶と致します。

ご挨拶終了後、佐々木昭パスト会長の乾杯のご発声により、懇親会がスタートしました。

懇親会では、出席者一人ひとりから田中会員に対する“贈る言葉”がありました。2年間、クラブ会報編集活動を一緒に行ってきた菟川 勝文 クラブ会報・広報・雑誌・IC委員長からは、この日の為に夜なべしてご用意されたという送辞が述べられました。



※送辞を贈る菟川委員長とその贈呈の様様です。田中会員、3年間お疲れ様でした。

～詳しくはホームページをご覧ください～